

<b>教育目標</b>	
豊かな心を持ち、自ら学び地域社会に貢献する生徒を育む	
<b>年度末の最終評価</b>	
自己評価	<b>教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し</b> 規範意識の向上や学力向上という点においては、一定の成果を見ることができた。また生徒会活動を中心に、地域との協力を進めることができた。次年度は、今年度の取組を継承しながら、更に小中連携と地域連携を深めていきたい。
学校関係者評価	<b>学校関係者による意見・支援策</b> 学校の取組については、学校だよりやホームページを通じてよく理解できた。学力向上や小中連携など、丁寧に進めていただいていると思う。学校関係者としては、PTA活動や学校運営協議会の活動を通して、次年度も中京中学校の教育活動を支えていきたいと考える。

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	平成30年10月3日	学校運営協議会
最終評価	平成31年2月28日	学校運営協議会

(1) 「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

<b>重点目標</b>
◇基礎基本の徹底と、キャリア教育の視点から、自ら学び・自ら考える力を育成する。
<b>具体的な取組</b>
① よんきゅう絆プロジェクト（9年間の学び）を達成するために努める。 ② 繰り返し学習等を通し、基礎的基本的な知識・技能の習得の徹底に努める。 ③ キャリア教育の充実を図り、グループ学習やポスターセッションを活用し、コミュニケーション能力をはじめとする基礎的汎用的能力の育成に努める。 ④ 生徒全員の学力を伸ばす指導と、学習評価の充実を努める。 ⑤ 家庭学習につながる、個々の子にあった学習課題の設定に努める。
<b>(取組結果を検証する) 各種指標</b>
確認プログラム、全国学力・学習状況調査、生徒アンケート、保護者アンケート、総合的な学習の振り返りなど

中間評価

	<p><b>各種指標結果</b></p> <p>全国学力・学習状況調査から、すべてのテストにおいて全国平均と同等かそれを上回っており、数学においては、ここ数年と同様に非常に高いポイントを示している。確認プログラムでは、3年生の数学・英語で高いポイントを示しているが、他の教科については、全市平均に近似している。</p> <p>家庭学習や読書にかかわる時間は伸びてはいるものの、全国と比してまだ課題がある。</p>
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>3年では、国語において知識習得型の学力に、数学において活用型の学力に伸長の余地がある。1・2年については学習確認プログラムの結果から、すべての教科についてはほぼ全市平均に近似しており、今後学力伸長の可能性がみられる。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>全国学力・学習状況調査の結果から、各授業において、「主体的で、対話的な深い学び」を展開するため、ジグソー法などのアクティブラーニングを意識した授業改善を更に進める。</p> <p>教科会での、結果の分析、授業改善に向けた取組を進め、学力向上のための取組を実践するとともに、家庭学習の定着・充実を図り、「自ら学ぶ力」の育成を目指す。</p> <p>また進路指導は、3年生の進路決定のみのものではなく、生徒のキャリア発達の視点から進路指導を全学年で取り組む。中央図書館とも連携を強化しつつ、読書の楽しさを教えるとともに学校図書館の充実を図る。</p>
	<p><b>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</b></p> <p>確認プログラム、生徒アンケート、保護者アンケート、総合的な学習の振り返りなど</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>今後も引き続き学力向上に取り組むとともに、中央図書館との連携も深めつつ生徒の読書習慣の定着を図ってほしい。支援策としては、家庭・地域へ学校の取組を伝えつつ、協力を促していく。</p>

最終評価

	<p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>確認プログラムは、3年生の英語において伸びはみられるものの、他の教科については、全市平均に近似した状態を維持している。生徒アンケートや保護者アンケートからは、家庭学習や読書にかかわる時間は全国と比して課題があることがわかる。また3年生は受験を控え、学習に向かう時間や授業での姿勢が好転してきたことが見受けられる。</p>
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>確認プログラムの結果から、各教科において学力の伸びがあまり見られない。読書量については、課題が残る。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>引き続き学力向上のため、授業の最初の「めあて」の提示と省察につながる振り返りを生徒に取り組ませるとともに、指導者側も振り返りシートを作成し、授業改善に取り組む。</p>
	<p><b>重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>基礎的・基本的な知識の習得については、ある程度の成果は見られたが、発展的な問題への取組については課題が残った。</p>

学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>引き続き、学力向上に努めてほしい。</p> <p>読書については地域でも協力を求めていく。</p>
---------	--

(2)「豊かな心」の育成に向けて

<p><b>重点目標</b></p> <p>◇人権意識の高揚をはかり、豊かな人間性を育て、自ら律する心を育成する。</p> <p>◇たくましく生きるための健康や安全を考え、行動する力を育成する。</p>
<p><b>具体的な取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① よんきゅう絆プロジェクトの推進を図る</li> <li>② 道徳教育の推進に努める。</li> <li>③ 規範意識の内面かをはかるとともに、自ら律する心を育てる。</li> <li>④ 「いじめ」のない集団づくり、絆づくりに努める。</li> <li>⑤ 子どもの困りに気付くとともに、問題行動等の予防と対応に努める。</li> <li>⑥ 不登校対策委員会を中心に全教職員で不登校の未然予防と、学校復帰を目指した支援に努める。</li> </ol>
<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <p>生徒アンケート、保護者アンケート、「いじめ」についてのアンケート、クラスマネジメントシート、インプレッションタイム発表など</p>

中間評価

	<p><b>各種指標結果</b></p> <p>あいさつ運動やCAN活動絵の取り組みについては定着している。</p> <p>規範意識は高く、行事などへの取り組みも積極的に達成感を感じている。</p>
自己評価	<p><b>分析 (成果と課題)</b></p> <p>学校生活については、昨年度より満足感が高まっており、今までの取組の成果が感じられる。「みんなが楽しい中京中学校」をめざし、後期もさらに取組を進めたい。</p> <p>また生徒アンケートの結果と保護者アンケートの結果の認識のずれが課題である。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>生徒会を中心としてあいさつ運動を今後も引き続き展開、校区ブロック内での小中連携の中で共同のあいさつ運動も可能な範囲で実施する。</p> <p>引き続き「みんなが楽しい中京中学校」をめざし、努力していく。</p>
	<p><b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b></p> <p>生徒アンケート、保護者アンケート、「いじめ」についてのアンケート、クラスマネジメントシート、インプレッションタイム発表など</p>

学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>あいさつ運動、CAN 活動は地域から見ていて定着しているのので、このまま進めてほしい。地域としても特に CAN 活動は積極的に関わっていくことによって支援する。</p>
---------	--

最終評価

<p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>あいさつ運動や CAN 活動絵の取り組みについては定着している。 規範意識は高く、行事などへの取り組みも積極的で達成感を感じている。</p>	
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>前期に引き続き、学校生活には、一定満足感を得ている様子である。しかしながら学校生活も時間の経過をする中で、生徒間のトラブルがないわけではなく、その都度細やかな聞き取り、指導を重ねている。また不登校生徒については、関係機関とも協力をしつつ、改善に取り組む必要がある。</p> <p>携帯電話やスマートフォンなど SNS の使い方については、一定保護者との約束の下での使用がうかがえるが、SNS による生徒間トラブルがないわけではない。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>今後も注意深く生徒の様子を観察し、声掛けや必要な指導は続けていく。不登校生徒については、保護者と学校との連携もととり、対応、改善していく。</p> <p>SNS の使い方については、さらに指導を続けていく。</p>
	<p><b>重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>問題行動はほとんど見られないとはいえ、いじめがなくなったわけではない。丁寧な見取りが必要である。また、不登校生徒についても、継続した取り組みが必要である。</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>これからも、引き続き丁寧な指導をお願いしたい。</p>

(3)「健やかな体」の育成に向けて

<p><b>重点目標</b></p> <p>◇たくましく生きるための健康や安全を考え、行動する力を育成する。</p> <p>◇キャリア教育の視点に立ち、学びを生活や自己の生き方に生かす力を育成する。</p> <p>◇家庭と地域社会との連携を密に進める。</p>
<p><b>具体的な取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① よんきゅう絆プロジェクトの推進を図る。</li> <li>② 望ましい生活習慣の形成と健康や体力の保持に努める。</li> <li>③ 自立して社会の発展に主体的に寄与する力の育成に努める。</li> <li>④ 自らの生き方を考える力を養うとともに、キャリア教育に視点を置いた進路保障に努める。</li> <li>⑤ 地域の活動に貢献できる生徒の育成と土壌づくりに努める。</li> </ol>
<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <p>生徒アンケート、保護者アンケート、新体力テスト、保健室より治療率・来室状況など</p>

中間評価

<p><b>各種指標結果</b></p> <p>朝食摂取率は高い。</p> <p>健診結果からの受診率については多少改善がみられるが、課題は残る。</p>	
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>朝食は取れているが、就寝時間が遅い。また、保護者と生徒の認識についてアンケートからずれがみられる。</p> <p>受診率の更なる改善は必要である。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>学力を向上させるためにも、規則正しい生活は必要であり、保護者と協力し、取り組んでいく。受診率向上のためにも保護者へ保健だよりや懇談を通じて働きかけを強化する。</p>
	<p><b>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</b></p> <p>生徒アンケート、保護者アンケート、保健室より治療率・来室状況など</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>引き続き生徒全員が朝食を食べよう取り組むようお願いしたい。また就寝時間や受診率の改善向上については引き続き取り組んでほしい。地域としても働きかけをしていくことによって支援する。</p>

最終評価

<p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>朝食摂取率は高い。</p> <p>健診結果からの受診率については、多少改善がみられるが、まだ課題は残る。</p>	
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>朝食は取れているが、就寝時間が遅い。また、保護者と生徒の認識についてアンケートからずれがみられる。</p> <p>歯科、および眼科の受診率の改善は今後も課題である。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>学力を向上させるためにも、規則正しい生活は必要であり、保護者と協力し、取り組んでいく。受診率向上のためにも保護者へ保健だよりや懇談を通じて働きかけを強化する。</p>
	<p><b>重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>健康・安全に対する意識が、十分に高められていない。今後も食教育を含め、健康・安全教育には時間をかけて取り組みたい。</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>引き続き生徒全員が朝食を食べよう取り組むようお願いしたい。また受診率の改善向上については引き続き取り組んでほしい。地域としても働きかけをしていくことによって支援する。</p>

(4) 学校独自の取組

<p><b>重点目標</b></p> <p>◇「小中一貫教育」における9年間の教育目標 「未来を拓きしなやかに生きる子供の育成」（よんきゅう絆プロジェクト 小中一貫目標）</p> <p>◇9年間で目指す子ども像 1人を大切にする 2あいさつをする 3進んで学習する 4自分の考えを表現する 5からだを大切にする 6地域を大切にする （よんきゅう絆プロジェクト めぎす子ども像）</p>
<p><b>具体的な取組</b></p> <p>よんきゅう絆プロジェクトの推進 (各部会等, 推進体制及び構想図に従い, より一層の活性化を目指す) 夏季研修を, 13校で行い, 小中一貫教育に向けての意識の向上を図る</p>
<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <p>生徒アンケート, 保護者アンケート, 職員アンケート</p>

中間評価

<p><b>各種指標結果</b></p> <p>よんきゅう絆プロジェクトにより, 13校合同の研修会の実施。中学校ブロックでの研修会, あいさつ運動, 部活動体験会の実施, ポスターの制作</p>	
自己評価	<p><b>分析 (成果と課題)</b></p> <p>プロジェクトが始まり, 教職員が中心の取組から児童・生徒中心の活動へと移行が進んできている。小小・中中・小中の連携は取りやすくなった。特に中学校ブロック内で, 小中の教職員の関係がいわゆる「顔が見える関係」となり, 互いの意思疎通, 連携がスムーズにいくことが増えた。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>よんきゅう絆プロジェクトの各部会の中で9年間を見通したためと取組の具現化。</p>
	<p><b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b></p> <p>生徒アンケート, 保護者アンケート, 職員アンケート</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>引き続き小中の連携を進めてほしい。</p>

最終評価

<p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>小中合同の授業研究に取り組むことができた。 新しい小中一貫教育構想図を作成できた。 新しいポスターを作製できた。</p>	
自己評価	<p><b>分析 (成果と課題)</b></p> <p>授業研究の交流やブロック内での「しなやかな道徳」の取り組みなどを進めることによって, 小中一貫の取組が, より一層具体的な形になってきた。交流が増えることによって, 小中間の教職員の信頼関係は構築されてきた。今年度もブロック内での小中の授業参観による交流ができた。</p>

	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>来年度も、よんきゅう絆プロジェクトの夏季合同研修会を継続するとともに、夏季合同研修では各部会での取組について、研修を深める。またそれぞれの部会で作成した、「9年間の学び」「9年間の育ち」「9年間の外国語活動・英語」の具現化を図る。</p> <p>また、来年度小中の授業研究の交流を進める。</p>
	<p><b>重点目標の達成状況，次年度の課題</b></p> <p>小中の交流が進み、より具体的な取り組みを進めることができた。次年度はよんきゅうで新たに決定した身に付けさせたい資質・能力である「コミュニケーション能力」と「課題解決能力」を軸に、カリキュラムマネジメントを進めたい。</p>
<p>学校関係者評価</p>	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>今後も小中一貫教育推進のために頑張ってもらいたい。</p>